

注3

大学番号：038

[平成24年度設置]

計画の区分：研究科の設置

注1

事前伺い

金沢大学大学院 医薬保健学総合研究科 脳医科学専攻
(博士課程) 外6専攻

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 金沢大学
平成26年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 総務部総務課

職名・氏名 法規・調査係長・^{タカハラ}高原 ^{ケンイチ}憲一

電話番号 076-264-5014

(夜間) 076-264-5014

F A X 076-234-4010

e-mail houki@adm.kanazawa-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成26年3月20日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

1	調査対象大学院等の概要等	• • • • •	1
2	授業科目の概要	• • • • •	13
3	既設大学等の状況	• • • • •	34
4	教員組織の状況	• • • • •	37
5	その他全般的事項	• • • • •	38

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 金沢大学

(2) 大学名

金沢大学大学院 医薬保健学総合研究科

(3) 大学の位置

医薬保健学総合研究科 脳医科学専攻（博士課程） 外3専攻
〒920-8640
石川県金沢市宝町13番1号

医薬保健学総合研究科 薬学専攻（博士課程） 外1専攻（及び本部）
〒920-1192
石川県金沢市角間町

医薬保健学総合研究科 保健学専攻（博士後期課程）
〒920-0942
石川県金沢市小立野5丁目11番80号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 (入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成24年度開設の博士後期課程の場合(平成26年度までの3年間)ですが, 開設年度・
 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合
 には, 欄を設けてください。)

(4) -① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の 名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
医薬保健学総合研究科	年	人	人	基礎となる専攻等
脳医科学専攻(博士課程) 博士(医学・学術)	4	16	64	医薬保健学域医学類
がん医科学専攻(博士課程) 博士(医学・学術)	4	26	104	医薬保健学域医学類
循環医科学専攻(博士課程) 博士(医学・学術)	4	20	80	医薬保健学域医学類
環境医科学専攻(博士課程) 博士(医学・学術)	4	14	56	医薬保健学域医学類
薬学専攻(博士課程) 博士(薬学・学術)	4	4	16	医薬保健学域薬学類
創薬科学専攻(博士後期課程) 博士(創薬科学・学術)	3	11	33	医薬保健学総合研究科創薬科学専攻(博士前期課程)
保健学専攻(博士後期課程) 博士(保健学)	3	25	75	医薬保健学総合研究科保健学専攻(博士前期課程)

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(4) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

〈脳医科学専攻〉

区 分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 16 (-) [-]	人 6 (-) [-]	人 16 (-) [-]	人 4 (-) [-]	人 16 (-) [-]	人 11 (-) [-]	人 0 (-) [-]	人 0 (-) [-]	0.72倍	
志願者数	7 (-) [1]	6 (-) [2]	8 (-) [0]	4 (-) [0]	11 (-) [3]	0 (-) []	0 (-) []	0 (-) []		
受験者数	7 (-) [1]	6 (-) [2]	8 (-) [0]	4 (-) [0]	11 (-) [3]	0 (-) []	0 (-) []	0 (-) []		
合格者数	7 (-) [1]	6 (-) [2]	8 (-) [0]	4 (-) [0]	11 (-) [3]	0 (-) []	0 (-) []	0 (-) []		
B 入学者数	7 (-) [1]	6 (-) [2]	7 (-) [0]	4 (-) [0]	11 (-) [3]	0 (-) []	0 (-) []	0 (-) []		
入学定員超過率 B/A	0.81		0.68		0.68					

〈がん医科学専攻〉

報告年度 区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 26 (-) [-]	人 26 (-) [-]	人 26 (-) [-]	人 26 (-) [-]	人 26 (-) [-]	人 26 (-) [-]	人 26 (-) [-]	人 26 (-) [-]	1.07倍	
志願者数	26 (-) [0]	2 (-) [2]	21 (-) [3]	4 (-) [1]	33 (-) [3]					
受験者数	26 (-) [0]	2 (-) [2]	21 (-) [3]	4 (-) [1]	33 (-) [3]					
合格者数	25 (-) [0]	2 (-) [2]	21 (-) [3]	4 (-) [1]	33 (-) [3]					
B 入学者数	24 (-) [0]	2 (-) [2]	21 (-) [3]	4 (-) [1]	33 (-) [3]					
入学定員超過率 B/A	1.00		0.96		1.26					

〈循環医科学専攻〉

報告年度 区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 20 (-) [-]	人 20 (-) [-]	人 20 (-) [-]	人 20 (-) [-]	人 20 (-) [-]	人 20 (-) [-]	人 20 (-) [-]	人 20 (-) [-]	0.68倍	
志願者数	12 (-) [1]	0 (-) [0]	16 (-) [0]	1 (-) [1]	13 (-) [0]					
受験者数	11 (-) [1]	0 (-) [0]	16 (-) [0]	1 (-) [1]	13 (-) [0]					
合格者数	11 (-) [1]	0 (-) [0]	16 (-) [0]	1 (-) [1]	13 (-) [0]					
B 入学者数	11 (-) [1]	0 (-) [0]	16 (-) [0]	1 (-) [1]	13 (-) [0]					
入学定員超過率 B/A	0.55		0.85		0.65					

〈環境医科学専攻〉

報告年度 区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 14 (-) [-]	人 14 (-) [-]	人 14 (-) [-]	人 14 (-) [-]	人 14 (-) [-]	人 14 (-) [-]	人 14 (-) [-]	人 14 (-) [-]	0.90倍	
志願者数	6 (-) [0]	14 (-) [9]	10 (-) [0]	0 (-) [0]	12 (-) [2]					
受験者数	6 (-) [0]	14 (-) [9]	9 (-) [0]	0 (-) [0]	12 (-) [2]					
合格者数	6 (-) [0]	11 (-) [6]	9 (-) [0]	0 (-) [0]	12 (-) [2]					
B 入学者数	6 (-) [0]	11 (-) [6]	9 (-) [0]	0 (-) [0]	12 (-) [2]					
入学定員超過率 B/A	1.21		0.64		0.85					

〈薬学専攻〉

報告年度 区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 4 (-) [-]	人 4 (-) [-]	人 4 (-) [-]	人 4 (-) [-]	人 4 (-) [-]	人 4 (-) [-]	人 4 (-) [-]	人 4 (-) [-]	1.16倍	
志願者数	7 (2) [0]	- (-) [-]	6 (3) [0]	- (-) [-]	2 (0) [0]					
受験者数	7 (2) [0]	- (-) [-]	5 (3) [0]	- (-) [-]	2 (0) [0]					
合格者数	7 (2) [0]	- (-) [-]	5 (3) [0]	- (-) [-]	2 (0) [0]					
B 入学者数	7 (2) [0]	- (-) [-]	5 (3) [0]	- (-) [-]	2 (0) [0]					
入学定員超過率 B/A	1.75		1.25		0.50					

〈創薬科学専攻（D）〉

区分	報告年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 11 (-) [-]	人 2	人 11 (-) [-]	人 -	人 11 (-) [-]	人 -	人 11 () []	人 -	人 -	1.05倍		
志願者数	12 (3) [1]	2 (-) [2]	13 (5) [2]	- (-) [-]	11 (5) [3]	- () []	- () []	- () []	- () []			
受験者数	12 (3) [1]	2 (-) [2]	13 (5) [2]	- (-) [-]	11 (5) [3]	- () []	- () []	- () []	- () []			
合格者数	12 (3) [1]	2 (-) [2]	13 (5) [2]	- (-) [-]	11 (5) [3]	- () []	- () []	- () []	- () []			
B 入学者数	12 (3) [1]	2 (-) [2]	11 (5) [1]	- (-) [-]	10 (5) [2]	- () []	- () []	- () []	- () []			
入学定員超過率 B/A	1.27		1.00		0.90							

〈保健学専攻（D）〉

区分	報告年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 25 (-) [-]	人 -	人 25 (-) [-]	人 -	人 25 (-) [-]	人 -	人 25 () []	人 -	人 -	1.10倍		
志願者数	22 (13) [3]	9 (8) [1]	26 (18) [0]	6 (3) [2]	29 (19) [0]	- () []	- () []	- () []	- () []			
受験者数	22 (13) [3]	9 (8) [1]	26 (18) [0]	6 (3) [2]	29 (19) [0]	- () []	- () []	- () []	- () []			
合格者数	22 (13) [3]	6 (5) [1]	26 (18) [0]	6 (3) [2]	26 (16) [0]	- () []	- () []	- () []	- () []			
B 入学者数	19 (12) [3]	6 (5) [1]	26 (18) [0]	6 (3) [2]	26 (16) [0]	- () []	- () []	- () []	- () []			
入学定員超過率 B/A	1.00		1.28		1.04							

- (注)
- ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ () 内には、社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 「社会人」については、設置計画書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 - ・ [] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入**してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、**計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。**

(4) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

〈脳医科学専攻〉

学 年	報告年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[1] 7	[-] -	[-] 7	[-] -	[3] 12	[-] -	[]	[]	[]	[]	
2年次	/		[1] 7	[2] 6	[0] 7	[0] 4	[]	[]	[]	[]	
3年次			[1] 7	[2] 6	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
4年次			[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
計			[1] 7	[3] 20	[6] 36	[]	[]	[]	[]	[]	[]

〈がん医科学専攻〉

学 年	報告年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[0] 24	[-] -	[3] 21	[-] -	[3] 33	[-] -	[]	[]	[]	[]	
2年次	/		[-] 24	[2] 2	[3] 21	[1] 4	[]	[]	[]	[]	
3年次			[0] 24	[2] 2	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
4年次			[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
計			[0] 24	[5] 47	[9] 84	[]	[]	[]	[]	[]	[]

〈循環医科学専攻〉

学 年	報告年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[1] 11	[-] -	[-] 16	[-] -	[0] 13	[-] -	[]	[]	[]	[]	
2年次	/		[1] 11	[-] -	[0] 16	[1] 1	[]	[]	[]	[]	
3年次			[1] 11	[-] -	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
4年次			[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
計			[1] 11	[1] 27	[2] 41	[]	[]	[]	[]	[]	[]

〈環境医科学専攻〉

報告年度 学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考		
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
1年次	[0] 6	[-] -	[-] 9	[-] -	[2] 11	[-] -	[]	[]			
2年次	/		[-] 6	[6] 11	[0] 9	[-] -	[]	[]			
3年次			/		/		[0] 6	[5] 10			
4年次							/			/	
計			[0] 6	[6] 26	[7] 36	[]					

〈薬学専攻〉

報告年度 学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考		
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
1年次	[0] 7	[-] -	[-] 5	[-] -	[0] 2	[-] -	[]	[]			
2年次	/		[-] 7	[-] -	[0] 5	[-] -	[]	[]			
3年次			/		/		[0] 6	[-] -			
4年次							/			/	
計			[0] 7	[0] 12	[0] 13	[]					

〈創薬科学専攻(D)〉

報告年度 学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考		
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
1年次	[1] 12	[-] -	[1] 11	[-] -	[2] 10	[-] -	[]	[]			
2年次	/		[1] 12	[2] 2	[1] 10	[-] -	[]	[]			
3年次			/		/		[1] 12	[2] 2			
4年次							/			/	
計			[1] 12	[4] 25	[6] 34	[]					

〈保健学専攻（D）〉

学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[3] 19	[-] -	[-] 26	[-] -	[0] 26	[-] -	[]	[]	
2年次			[2] 18	[1] 6	[0] 25	[2] 6	[]	[]	
3年次					[2] 18	[1] 6			
4年次							[]	[]	
計	[3] 19		[3] 50		[5] 81		[]	[]	

- (注)
- ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(4) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

〈脳医科学専攻〉

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	13(6) 7 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0 %
			平成25年度	0 人	0 人		
			平成26年度	0 人	0 人		
			平成27年度	人	人		
平成25年度 入学者	11(4) 7 人	0 人	平成25年度	0 人	0 人		0 %
			平成26年度	0 人	0 人		
			平成27年度	人	人		
平成26年度 入学者	12 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人		0 %
			平成27年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0 人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	36(10) 人	0 人					0 %

※()は秋季入学で内数

〈がん医科学専攻〉

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	26(2) 24 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0 %
			平成25年度	0 人	0 人		
			平成26年度	0 人	0 人		
			平成27年度	人	人		
平成25年度 入学者	25(4) 21 人	0 人	平成25年度	0 人	0 人		0 %
			平成26年度	0 人	0 人		
			平成27年度	人	人		
平成26年度 入学者	33 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人		0 %
			平成27年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0 人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	84(6) 人	0 人					0 %

※()は秋季入学で内数

〈循環医科学専攻〉

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	11 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0 %
			平成25年度	0 人	0 人		
			平成26年度	0 人	0 人		
			平成27年度	人	人		
平成25年度 入学者	17(1) 16 人	0 人	平成25年度	0 人	0 人		0 %
			平成26年度	0 人	0 人		
			平成27年度	人	人		
平成26年度 入学者	13 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人		0 %
			平成27年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0 人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	41(1) 人	0 人					0 %

※()は秋季入学で内数

〈環境医科学専攻〉

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	17(11) 6 人	1 0 人	平成24年度	0 人	0 人	病気	5.9 0 %
			平成25年度	1 0 人	1 0 人		
			平成26年度	0 人	0 人		
			平成27年度	人	人		
平成25年度 入学者	9 人	0 人	平成25年度	0 人	0 人		0 %
			平成26年度	0 人	0 人		
			平成27年度	人	人		
平成26年度 入学者	11 人	人	平成26年度	0 人	0 人		0 %
			平成27年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0 人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	37(11) 人	1 人					2.7 %

※()は秋季入学で内数

〈薬学専攻〉

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	7人	1 0人	平成24年度	0人	0人	他大学等への入学・転学	14.3 0%
			平成25年度	1 0人	0人		
			平成26年度	0人	0人		
			平成27年度	人	人		
平成25年度 入学者	5人	0人	平成25年度	0人	0人		0%
			平成26年度	0人	0人		
			平成27年度	人	人		
平成26年度 入学者	2人	人	平成26年度	0人	0人		0%
			平成27年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
合計	14人	1人					7.1%

※()は秋季入学で内数

〈創薬科学専攻(D)〉

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	14(2) 12人	0人	平成24年度	0人	0人		0%
			平成25年度	0人	0人		
			平成26年度	0人	0人		
			平成27年度	人	人		
平成25年度 入学者	11人	1 0人	平成25年度	1 0人	0人	進路変更	9.1 0%
			平成26年度	0人	0人		
			平成27年度	人	人		
平成26年度 入学者	10人	0人	平成26年度	0人	0人		0%
			平成27年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
合計	35(2)人	1人					2.9%

※()は秋季入学で内数

〈保健学専攻(D)〉

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	25(6) 19 人	1 人	平成24年度	1 人	1 0 人	一身上の都合	4.0 5.2 %
			平成25年度	0 人	0 人		
			平成26年度	0 人	0 人		
			平成27年度	人	人		
平成25年度 入学者	32(6) 26 人	1 0 人	平成25年度	1 0 人	0 人	その他	3.1 0 %
			平成26年度	0 人	0 人		
			平成27年度	人	人		
平成26年度 入学者	26 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人		0 %
			平成27年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0 人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	83(12) 人	2 人					2.4 %

※()は秋季入学で内数

(注)・数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<医薬保健学総合研究科 脳医科学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
初期総合カリキュラム	論文演習	1前or後		2							兼1	
	情報処理演習	1前or後		2							兼1	
	医学統計学演習	1前or後		2							兼1	
	細胞培養法	1前or後		2							兼1	
	細胞培養法実習	1前or後		2							兼1	
	微生物培養法	1前or後		2							兼1	
	微生物培養法実習	1前or後		2							兼1	
	形態解析研究法	1前or後		2		1						
	形態解析研究法実習	1前or後		2		1						
	遺伝子操作実験法	1前or後		2							兼1	
	遺伝子操作実験法実習	1前or後		2							兼1	
	生化学分子生物学研究法	1前or後		2		1						
	生化学分子生物学研究法実習	1前or後		2		1						
	免疫学研究法	1前or後		2							兼1	
	免疫学研究法実習	1前or後		2							兼1	
	トレーサー実験法	1前or後		2							兼1	
	トレーサー実験法実習	1前or後		2							兼1	
	実験動物学	1前or後		2		1						
	実験動物学実習	1前or後		2		1						
	社会医学研究法	1前or後		2							兼1	
	社会医学研究法実習	1前or後		2							兼1	
	医学概論	1前or後		2							兼1	
	基礎系教育セミナー	1前		2		1					兼1	担当教員変更のため、教員増(26) 担当教員変更のため、教員減(24)
	臨床系教育セミナー	1通		2							兼1	
	最新医科学英語	1後		2		1					兼1	担当教員変更のため、教員増(26)
	フロンティア医学セミナー	1前or後		2		1						
分子生物学入門	1前or後		1							兼1		
分子腫瘍学特論	1前or後		1							兼1		
臨床統計学特論	1前or後		1							兼1		
臨床栄養学特論	1前or後		1							兼1		
臨床統計学演習	1前or後		1							兼1		
レギュラトリーサイエンス特論	1後		2							兼1		
研究倫理	1前or後		1							兼1	教育内容充実のため、科目を追加(26)	
博士課程	がん研セミナー	1・2前or後		2							兼1	
	学際医学セミナー	1or2通		2		1					兼1	教員の退職のため、兼任教員に変更(24)
	発生工学基礎技術コース	1・2前or後		1		1						
	遺伝子工学基礎技術コース	1・2前or後		1		1						
脳細胞分子学	脳細胞遺伝子学特論	1~2通		12		1	1					教員の採用(26) 教員の採用及び退職(25) 教員の退職のため、担当教員変更(24)
	脳細胞生物学	1・2前or後		4		1	1					教員の採用(26) 教員の採用及び退職(25) 教員の退職のため、担当教員変更(24)
	脳細胞遺伝子機能学	1・2前or後		4		1	1					教員の採用(26) 教員の採用及び退職(25) 教員の退職のため、担当教員変更(24)
	脳細胞生化学	1・2前or後		4		1	1	1				教員の採用(26) 教員の採用及び退職(25) 教員の退職のため、担当教員変更(24)
	脳情報分子学特論	1~2通		12		1	1	1				教員の退職(26) 教育内容充実のため、担当教員追加(25) 教員の退職(24)
	分子神経生物学	1・2前or後		6		1	1	1				教員の退職(26) 教育内容充実のため、担当教員追加(25) 教員の退職(24)
	脳神経情報学	1・2前or後		6		1	1	1				教員の退職(26) 教育内容充実のため、担当教員追加(25) 教員の退職(24)
	神経分子標的学特論	1~2通		12		1	1					教員の退職(26)
	神経発生解剖学	1・2前or後		4		1						
	脳循環代謝学	1・2前or後		4		1						
	神経細胞死制御学	1・2前or後		4		1						
	分子遺伝学特論	1~2通		12		1						
	遺伝生化学	1・2前or後		6		1						
遺伝情報解析学	1・2前or後		6			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
脳情報回路学	機能解剖学特論	1~2通		12		1	4					教員の退職(25)
	疼痛学	1・2前or後		4		1	4					教員の退職(25)
	自律神経学	1・2前or後		4		1	4					教員の退職(25)
	臨床解剖学	1・2前or後		4		1	4					教員の退職(25)
	分子神経科学・統合生理学特論	1~2通		12		1						
	神経可塑性機能論	1・2前or後		4		1						
	シナプス機能解析学	1・2前or後		4			1					
	神経回路発達学	1・2前or後		4		1						
	神経発生学特論	1~2通		12		1						カリキュラム充実のため、科目を追加(24)
脳病態医学	脳老化・神経病態学特論	1~2通		12		1	1					
	神経内科学	1・2前or後		6		1	1					
	神経分子病態学	1・2前or後		6		1	1					
	脳情報病態学特論	1~2通		12		1						
	精神神経科学特論	1・2前or後		4		1						
	脳変性疾患病態学	1・2前or後		4			1					
	情報認知医学	1・2前or後		2		1	1					
	脳情報伝達解析学	1・2前or後		2		1						
	視覚科学特論	1~2通		12		1						
	視覚情報伝達再建学	1・2前or後		4			4	1				教員の退職による担当教員変更(25)
	網膜病態機能解析学	1・2前or後		2		1						
	視器細胞制御学	1・2前or後		2		1						
	網膜病態細胞解析学	1・2前or後		2			4	1				教員の退職(25)
	視覚光学構築再建学	1・2前or後		2			4	1				教員の退職による担当教員変更(25)
	感覚運動病態学特論	1~2通		12		1	1	2				
	感覚器腫瘍外科学	1・2前or後		4		1	1	2				
	嗅覚機能病態解析学	1・2前or後		4		1	1	2				
	音声言語機能外科学	1・2前or後		2		1	1	2				
	口腔咽頭腫瘍学	1・2前or後		2		1	1	2				
	脳・脊髄機能制御学特論	1~2通		12		+	1	2	+			教員の退職, 担当教員追加(26)
脳腫瘍学	1・2前or後		4			1						
脳卒中病態制御学	1・2前or後		2		+		1				教員の退職, 担当教員追加(26)	
臨床神経内分泌学	1・2前or後		2				1					
神経機能再生学	1・2前or後		2			1						
脳血管外科学	1・2前or後		2		+		1				教員の退職, 担当教員追加(26)	
再生脳外科学特論	1~2通		12			1						
遺伝子学	遺伝子改変動物学特論	1~2通		12		1	1					
	実験動物学特論	1・2前or後		4		1	1					
共通	先端脳医学セミナー	1・2前or後		12		1						
	脳医学Up-to-dateセミナー	1・2前or後		2		1						

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成26年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
0	88	0	88	1	89	0	90	
				[1]	[1]	[0]	[2]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	脳情報分子学特論	12	1~2通	専門	選択	担当教員の退職による。履修希望者がいないため、代替措置なし。
2	分子神経生物学	6	1・2前or後	専門	選択	担当教員の退職による。履修希望者がいないため、代替措置なし。
3	脳神経情報学	6	1・2前or後	専門	選択	担当教員の退職による。履修希望者がいないため、代替措置なし。

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

担当教員が退職し、後任補充予定がないことから、これらの科目は廃止する方向で現在カリキュラムの見直しを行っている。今年度は、これらの科目には履修希望者がいなかったため、学生の教育に支障は生じていない。科目の廃止が決定した場合は、学生の勉学に支障を来たさないよう、ガイダンスでの口頭説明、掲示による告知及び「履修の手引き」への掲載などにより周知する予定である。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.03}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<医薬保健学総合研究科 がん医科学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
初期総合カリキュラム	論文演習	1前or後		2								兼1		
	情報処理演習	1前or後		2								兼1		
	医学統計学演習	1前or後		2								兼1		
	細胞培養法	1前or後		2								兼1		
	細胞培養法実習	1前or後		2								兼1		
	微生物培養法	1前or後		2								兼1		
	微生物培養法実習	1前or後		2								兼1		
	形態解析研究法	1前or後		2								兼1		
	形態解析研究法実習	1前or後		2								兼1		
	遺伝子操作実験法	1前or後		2								兼1		
	遺伝子操作実験法実習	1前or後		2								兼1		
	生化学分子生物学研究法	1前or後		2								兼1		
	生化学分子生物学研究法実習	1前or後		2								兼1		
	免疫学研究法	1前or後		2			1							
	免疫学研究法実習	1前or後		2			1							
	トレーサー実験法	1前or後		2									兼1	
	トレーサー実験法実習	1前or後		2									兼1	
	実験動物学	1前or後		2									兼1	
	実験動物学実習	1前or後		2									兼1	
	社会医学研究法	1前or後		2									兼1	
	社会医学研究法実習	1前or後		2									兼1	
	医学概論	1前or後		2									兼1	
	基礎系教育セミナー	1前		2			↓						兼1	担当教員変更のため、教員減(26)
	臨床系教育セミナー	1通		2			↓						兼1	担当教員変更のため、教員増(24)
	最新医科学英語	1後		2									兼1	担当教員変更のため、教員減(24)
	フロンティア医学セミナー	1前or後		2									兼1	
分子生物学入門	1前or後		1			1								
分子腫瘍学特論	1前or後		1			1								
臨床統計学特論	1前or後		1									兼1		
臨床栄養学特論	1前or後		1									兼1		
臨床統計学演習	1前or後		1									兼1		
レギュラトリーサイエンス特論	1後		2									兼1		
研究倫理	1前or後		1			1							教育内容充実のため、科目を追加(26)	
博士課程	がん研セミナー	1・2前or後		2		1								
	学際医学セミナー	1or2通		2								兼1		
	発生工学基礎技術コース	1・2前or後		1								兼1		
	遺伝子工学基礎技術コース	1・2前or後		1								兼1		
がん細胞学	組織発達構築学特論	1～2通		12		1								
	細胞増殖調節学	1・2前or後		6		1								
	組織発生分化学	1・2前or後		6			1							
	形態機能病理学特論	1～2通		12		1	↓	1	2				教員の退職、教員の職位変更(26) 担当教員配置数の誤記のため修正(24)	
	分子免疫病理学	1・2前or後		4		1	↓	2	1	2			教員の退職(26) 担当教員配置数の誤記のため修正(24)	
	がん形質発現学	1・2前or後		4		1	↓	2	1	2			教員の退職(26) 担当教員配置数の誤記のため修正(24)	
	組織細胞形態診断学	1・2前or後		4		1	↓	2	1	2			教員の退職(26) 担当教員配置数の誤記のため修正(24)	
	細胞浸潤学特論	1～2通		12		1	1	1	1				教員の退職(24)	
	口腔腫瘍学	1・2前or後		4		1	1	1	1				教育内容充実のため、教員を追加(25) 教員の退職(24)	
	口腔顎顔面外科学	1・2前or後		4		↓	↓	1	1				教員の退職(25) 教員の退職(24)	
	臨床口腔微生物学	1・2前or後		4			↓	1	1				教員の退職(25) 教育内容充実のため教員を追加(24)	
	分子細胞病理学特論	1～2通		12		1	↓	↓	↓				教員の退職(24)	
	神経病理学	1・2前or後		6		1	↓	↓	↓				教員の退職(24)	
	分子病理学	1・2前or後		6		1	↓	↓	↓				教員の退職(24)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
がん制御学	がん局所制御学特論	1～2通		12		1	1	4				教員の退職(24) 教員の職位変更(24) 担当教員の追加, 授業担当教員の変更(26) 担当教員の追加, 授業担当教員の変更(26) 教員の職位変更(26) 兼1 平成24年10月から教育内容充実のため科目を追加(26) 平成24年10月から教育内容充実のため科目を追加(26) 平成24年10月から教育内容充実のため科目を追加(26) 平成24年10月から教育内容充実のため科目を追加(26) 平成24年10月から教育内容充実のため科目を追加(26)
	胃癌発生論	1・2前or後		2			1	4				
	膵癌外科学	1・2前or後		4		+		1				
	胆道癌外科学	1・2前or後		4		+		1				
	内分泌外科学	1・2前or後		2		1						
	集学的治療学特論	1～2通		12		1						
	がん化学療法学	1・2前or後		4			1	1				
	がん温熱療法学	1・2前or後		2		1						
	がん放射線治療学	1・2前or後		2			1	1	2			
	がん遺伝子治療学	1・2前or後		2		1		1				
	泌尿器外科学	1・2前or後		2		1						
	バイオトレーサー診療学特論	1～2通		12		1	1	2				
	バイオトレーサー測定技術学	1・2前or後		2		1	1	2				
	臨床腫瘍核医学	1・2前or後		4		1	1	2				
	がん親和性放射性医薬品学	1・2前or後		2		1	1	2				
	国際がん治療学特論	1～2通		12		1						
	高度がん外科治療学	1・2前or後		4		1						
	腫瘍分子診断学	1・2前or後		4		1						
	がんの先進光子線治療学	1・2前or後		2								
スピリチュアルケア論	1・2前or後		2				1					
バイオトレーサー画像解析学	1・2前or後		2		1	1	2					
バイオトレーサー情報処理学	1・2前or後		2		1	1	2					
機能再生学	再生分子医学特論	1～2通		12		1	1				兼1 兼1 兼1 兼1 教員の採用(26) 教員の退職により兼任教員に変更(25) 教員の採用(26) 教員の退職により兼任教員に変更(25) 教員の採用(26) 教員の退職により兼任教員に変更(25) 教員の採用(26) 教員の退職により兼任教員に変更(25) 教員の職位変更(24) 教員の職位変更(24) 教員の職位変更(24) 教員の退職(26) 授業担当教員の変更(26) 授業担当教員の変更(26) 教員の退職(26)	
	分子細胞病因学	1・2前or後		4		1	1					
	分子細胞再生学	1・2前or後		4		1	1					
	器官再生・造成学	1・2前or後		4		1	1					
	分子移植学特論	1～2通		12		+						
	婦人科腫瘍学	1・2前or後		2		+		1				
	分子情報学	1・2前or後		4			+	1				
	分子動態学	1・2前or後		4			+	1				
	分子診断治療学	1・2前or後		2				1				
	細胞移植学特論	1～2通		12		1						
	呼吸器病学	1・2前or後		2			1					
	血液病学	1・2前or後		2		1						
	幹細胞制御学	1・2前or後		2		1						
	移植血管情報学	1・2前or後		2			1					
	細胞分化制御学	1・2前or後		2		1						
	移植炎症制御学	1・2前or後		2		1						
	機能再建学特論	1～2通		12		1	1	1	2			
	骨・軟骨分子病態生理学	1・2前or後		2		1	1	1				
	骨・軟骨・関節再生医学	1・2前or後		4		1	1	1				
	筋骨格系生体力学	1・2前or後		2		1	1	1	2			
脊髄・抹消神経再生医学	1・2前or後		4		1	1	1	2				
機能回復学特論	1～2通		12		1		1					
麻酔学特論	1・2前or後		4		1	+	1					
麻酔薬動態学	1・2前or後		4		1	+						
疼痛制御学	1・2前or後		4		+		1					
がん分子統御学	分子細胞生物学特論	1～2通		12			1				教員の退職, カリキュラムの見直し(25) 教員の退職, カリキュラムの見直し(25) カリキュラムの充実, 教員の採用(25) カリキュラムの充実, 教員の採用(25)	
	遺伝子生化学	1・2前or後		6			1					
	細胞分子病態学特論	1～2通		12		+						
	ストレス応答分子学	1・2前or後		6		+						
	分子病態学特論	1～2通		12		1						
	がん細胞生物学	1・2前or後		6		1						
	シグナル伝達学特論	1～2通		12		1						
	遺伝子機能解析学	1・2前or後		6		1						
	細胞機能学特論	1～2通		12		1	2					
	癌浸潤転移分子学	1・2前or後		6		1	2					
	生体防御機構学特論	1～2通		12		1						
	細胞死分子生物学	1・2前or後		6		1						
	サイトカイン学特論	1～2通		12		1						
	分子生体応答学	1・2前or後		6		1						
	幹細胞生物学特論	1～2通		12		1	1					
	遺伝子発現学	1・2前or後		6		1	1					
	分子腫瘍発生学特論	1～2通		12		1						
	がん分子病理学	1・2前or後		6		1						
	腫瘍分子生物学特論	1～2通		12		1						
がん分子生物学	1・2前or後		6		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
がん分子統御学	臨床分子腫瘍学特論	1~2通		12		1	1					教育内容充実のため、担当教員追加(26) 教員の職位変更(24) 教育内容充実のため、担当教員追加(26) 教員の職位変更(24)
	腫瘍制御学	1・2前or後		6		1	1					
	腫瘍生化学特論	1~2通		12		1						
	分子再生医学	1・2前or後		6		1						
	腫瘍ウイルス学特論	1~2通		12		1						
	ゲノム情報生物学	1・2前or後		6		1						
	腫瘍内科学特論	1~2通		12		1	1			2 ↓ 2		
分子薬物治療学	1・2前or後		6		1	1			2 ↓ 2			
共通	先端がん医科学セミナー	1・2前or後		12		1						
	がん医科学Up-to-dateセミナー	1・2前or後		2		1						

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成26年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
0	120	0	120	1	125	0	126	
				[1]	[5]	[0]	[6]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	細胞分子病態学特論	12	1~2通	専門	選択	担当教員の退職及びカリキュラムの見直しによる。代替措置なし。
2	ストレス応答分子学	6	1・2前or後	専門	選択	担当教員の退職及びカリキュラムの見直しによる。代替措置なし。

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

担当教員の退職に伴いカリキュラムを見直した結果、当該科目を廃止した。履修希望者がいなかったため学生の教育には支障はない。科目廃止に関しては「履修の手引き」に掲載するなど、書面により周知した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.01}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<医薬保健学総合研究科 循環医科学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
初期総合カリキュラム	論文演習	1前or後		2		1						
	情報処理演習	1前or後		2		1						
	医学統計学演習	1前or後		2							兼1	
	細胞培養法	1前or後		2							兼1	
	細胞培養法実習	1前or後		2							兼1	
	微生物培養法	1前or後		2							兼1	
	微生物培養法実習	1前or後		2							兼1	
	形態解析研究法	1前or後		2							兼1	
	形態解析研究法実習	1前or後		2							兼1	
	遺伝子操作実験法	1前or後		2			+				兼1	教員の退職(26)
	遺伝子操作実験法実習	1前or後		2			+				兼1	教員の退職(26)
	生化学分子生物学研究法	1前or後		2							兼1	
	生化学分子生物学研究法実習	1前or後		2							兼1	
	免疫学研究法	1前or後		2							兼1	
	免疫学研究法実習	1前or後		2							兼1	
	トレーサー実験法	1前or後		2							兼1	
	トレーサー実験法実習	1前or後		2							兼1	
	実験動物学	1前or後		2							兼1	
	実験動物学実習	1前or後		2							兼1	
	社会医学研究法	1前or後		2							兼1	
	社会医学研究法実習	1前or後		2							兼1	
	医学概論	1前or後		2			+				兼1	担当教員の退職, 担当教員変更のため, 教員減(26)
	基礎系教育セミナー	1前		2							兼1	
	臨床系教育セミナー	1通		2			1				兼1	平成24年4月から担当教員変更のため, 教員増(26)
	最新医科学英語	1後		2			+				兼1	担当教員変更のため, 教員減(26)
	フロンティア医学セミナー	1前or後		2							兼1	
	分子生物学入門	1前or後		1							兼1	
	分子腫瘍学特論	1前or後		1							兼1	
	臨床統計学特論	1前or後		1					1		兼1	
	臨床栄養学特論	1前or後		1							兼1	
臨床統計学演習	1前or後		1							兼1		
レギュラトリーサイエンス特論	1後		2							兼1		
研究倫理	1前or後		1							兼1	教育内容充実のため, 科目を追加(26)	
博士 共通 課程	がん研セミナー	1・2前or後		2							兼1	
	学際医学セミナー	1or2通		2							兼1	
	発生工学基礎技術コース	1・2前or後		1							兼1	
	遺伝子工学基礎技術コース	1・2前or後		1							兼1	
血管分子科学	血管分子生物学特論	1~2通		12		+	1	+			兼1	教員の退職(26) 教員の退職及び職位変更(24)
	血管細胞生物学	1・2前or後		6		+	1	+			兼1	教員の退職(26) 教員の退職及び職位変更(24)
	分子医化学	1・2前or後		6		+	1	+			兼1	教員の退職(26) 教員の退職及び職位変更(24)
	血管情報伝達学特論	1~2通		12			1	2				
	循環生理学	1・2前or後		6			1	1				
	血管増殖調節学	1・2前or後		6			1	1				
	血管新生学・結合組織代謝学特論	1~2通		12			1					
	膠原病学	1・2前or後		3			1	+				教員の退職, 担当教員の追加(26)
	皮膚病学特論	1・2前or後		3			1					
	皮膚腫瘍学	1・2前or後		3				+	1			教員の退職, 担当教員の追加(26)
皮膚免疫学	1・2前or後		3				1	+			教員の職位変更(26)	
血液情報学	血液情報統御学特論	1~2通		12			1	1				
	臨床検査学	1・2前or後		6			1	1				
	細菌検査学	1・2前or後		2			1	1				
	内分泌診断学	1・2前or後		4			1	1				
	血液情報発信学特論	1~2通		12			1					
	集中治療医学	1・2前or後		4			1	+				担当教員の変更(26)
	重症患者管理学	1・2前or後		4			1					
	救命救急医学	1・2前or後		4			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
血管病態制御学	臓器機能制御学特論	1~2通		12		1						
	循環器病学	1・2前or後		4		1		1				
	内分泌代謝学	1・2前or後		8			1					
	血管発生発達病態学特論	1~2通		12		1						担当教員の追加(26)
	小児血液腫瘍学	1・2前or後		4		1						
	先天性代謝病学	1・2前or後		4		1						
	小児科学	1・2前or後		4		1						
	経血管診療学特論	1~2通		12		1	+					教員の職位変更(26) 教員の退職による担当教員変更(25)
	放射線診断学	1・2前or後		4		+	1	1				担当教員の追加(26) 教員の退職(25)
	血管内治療学	1・2前or後		4		+	1	1				教員の職位変更, 担当教員の追加(26) 教員の退職(25)
	磁気共鳴診断学	1・2前or後		2		+	1					教員の職位変更, 担当教員の追加(26) 教員の退職による担当教員変更(25)
	画像診断学	1・2前or後		2		+	1					教員の職位変更, 担当教員の追加(26) 教員の退職による担当教員変更(25)
	心肺病態制御学特論	1~2通		12		1	1		2			教員の採用(26) 教員の退職(24)
心血管外科学	1・2前or後		6		1	+		2	1		教員の退職(26) 教員の退職(24)	
呼吸器外科学	1・2前or後		6		1	1		2	+	2	教員の採用(26) 教員の退職(24)	
機能分子薬学	分子情報薬理学特論	1~2通		12		1						
	細胞シグナル伝達学	1・2前or後		6		1						
	細胞分子機能学特論	1・2前or後		12		1	1					
血液情報病態学	血液情報病態学特論	1~2通		12		+	+					兼1 教員の退職(26) 教員の退職(24)
	血液異常治療学	1・2前or後		6		+	+					兼1 教員の退職(26) 教員の退職(24)
	血液情報分子遺伝学	1・2前or後		6		+	+					兼1 教員の退職(26) 教員の退職(24)
統御情報薬学	医薬情報統御学特論	1~2通		12		1						
	薬物間相互作用論	1・2前or後		6		1	+					教員の職位変更(26)
	薬物療法科学	1・2前or後		6		1	+					教員の退職, 教員の職位変更(26)
医療経営学	医療経営学特論	1~2通		12		1						
	医療安全管理学	1・2前or後		2		1						
	医療マーケティング	1・2前or後		2		1						
	医療経営学	1・2前or後		2		1						
共通専攻	先端循環医科学セミナー	1・2前or後		12		1						
	循環医科学Up-to-dateセミナー	1・2前or後		2		1						

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任, 兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で, 前年度報告時(平成26年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し, 「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお, 昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任, 兼担の教員が担当する授業科目については, 備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合, 専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては, 「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には, 「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について, 設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても, 設置時の状況を黒字で記入してください。また, 前年度報告時より修正があれば, 赤字で見え直し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
0	85	0	85	1	85	0	86	
				[1]	[0]	[0]	[1]	

- (注) ・ 未開講である場合や, 配当年次に関わらず, 教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など, 別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに, [] 内に, 設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<医薬保健学総合研究科 環境医科学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
初期総合カリキュラム	論文演習	1前or後		2							兼1			
	情報処理演習	1前or後		2							兼1			
	医学統計学演習	1前or後		2		1								
	細胞培養法	1前or後		2		1								
	細胞培養法実習	1前or後		2		1								
	微生物培養法	1前or後		2		+		1					教員の退職, 担当教員の追加(26)	
	微生物培養法実習	1前or後		2		+		1					教員の退職, 担当教員の追加(26)	
	形態解析研究法	1前or後		2									兼1	
	形態解析研究法実習	1前or後		2									兼1	
	遺伝子操作実験法	1前or後		2									兼1	
	遺伝子操作実験法実習	1前or後		2									兼1	
	生化学分子生物学研究法	1前or後		2									兼1	
	生化学分子生物学研究法実習	1前or後		2									兼1	
	免疫学研究法	1前or後		2									兼1	
	免疫学研究法実習	1前or後		2									兼1	
	トレーサー実験法	1前or後		2									兼1	
	トレーサー実験法実習	1前or後		2									兼1	
	実験動物学	1前or後		2									兼1	
	実験動物学実習	1前or後		2									兼1	
	社会医学研究法	1前or後		2		1								
	社会医学研究法実習	1前or後		2		1								
	医学概論	1前or後		2		1							兼1	担当教員の退職, 担当教員変更のため, 教員増(26)
	基礎系教育セミナー	1前		2									兼1	
	臨床系教育セミナー	1通		2									兼1	
	最新医科学英語	1後		2									兼1	
	フロンティア医学セミナー	1前or後		2									兼1	
分子生物学入門	1前or後		1								兼1			
分子腫瘍学特論	1前or後		1								兼1			
臨床統計学特論	1前or後		1		1									
臨床栄養学特論	1前or後		1								兼1			
臨床統計学演習	1前or後		1		1									
レギュラトリーサイエンス特論	1後		2								兼1			
研究倫理	1前or後		1								兼1	教育内容充実のため, 科目を追加(26)		
博士 共通 課程	がん研セミナー	1・2前or後		2							兼1			
	学際医学セミナー	1or2通		2							兼1			
	発生工学基礎技術コース	1・2前or後		1							兼1			
	遺伝子工学基礎技術コース	1・2前or後		1							兼1			
感染症 制御学	細菌感染症制御学特論	1~2通		12		+		1				教員の退職, 担当教員の追加(26)		
	細菌遺伝学	1・2前or後		6				1				教員の退職, 担当教員の追加(26)		
	国際細菌感染症学	1・2前or後		6		+		1						
	ウイルス感染症制御学特論	1~2通		12		1								
	ウイルス遺伝学	1・2前or後		6		1								
	ウイルス化学療法学	1・2前or後		4		1								
	国際ウイルス感染症学	1・2前or後		2		1								
	寄生虫感染症制御学特論	1~2通		12				1						
	衛生動物学	1・2前or後		6				1						
	国際寄生虫感染症学								1					
国際保健学	1・2前or後		6					1			教授内容をより適切に反映した科目名に変更(24)			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
環境 社会 医学	環境生体分子応答学特論	1~2通		12		1						
	環境認知学	1・2前or後		4		1	1					
	生体応答学	1・2前or後		4		1	1					
	環境評価学	1・2前or後		4		1	1					
	環境生態医学・公衆衛生学特論	1~2通		12		1						
	環境障害発生論	1・2前or後		4		1						
	環境産業中毒学	1・2前or後		4		1						
	環境生理学	1・2前or後		2		1	+					教員の退職(26)
	実験環境疫学	1・2前or後		2		1		1				
	運動生体管理学特論	1~2通		12		1	1					
	体力・健康管理学	1・2前or後		4		1	1					
	体力発達・老化学	1・2前or後		4		1	1					
	運動生理機構学	1・2前or後		4		1	1					
	法・社会環境医学特論	1~2通		12		1	1	1				
	法医病理学	1・2前or後		4		1		1				
	法医遺伝・鑑識学	1・2前or後		4		1	1	1				
	法医中毒学	1・2前or後		4		1	1	1				
	恒常性制御学特論	1~2通		12		1	1	2				教員の職位変更, 担当教員の変更(26) 教育内容充実のため, 教員を追加(24)
	消化器病学	1・2前or後		2		1	1	2				教員の職位変更, 担当教員の変更(26) 教育内容充実のため, 教員を追加(24)
	遺伝子発現制御学	1・2前or後		4		1	+	1 2				担当教員の変更(26) 教育内容充実のため, 教員を追加(24)
腎臓病学	1・2前or後		2		1	1	2				教員の職位変更, 担当教員の変更(26) 教育内容充実のため, 教員を追加(24)	
消化管遺伝子治療学	1・2前or後		4		1	+	1 2				担当教員の変更(26) 教育内容充実のため, 教員を追加(24)	
代謝生理学特論	1~2通		12		1						カリキュラム充実のため, 科目を追加(24)	
細胞代謝栄養学特論	1~2通		12			1					カリキュラム充実のため, 科目を追加(24)	
共通 専攻	先端環境医科学セミナー	1・2前or後		12		1						
	環境医科学Up-to-dateセミナー	1・2前or後		2		1						

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任, 兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で, 前年度報告時(平成26年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し, 「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお, 昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については, 見え消しそのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任, 兼担の教員が担当する授業科目については, 備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合, 専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては, 「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には, 「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について, 設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても, 設置時の状況を黒字で記入してください。また, 前年度報告時より修正があれば, 赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
0	70	0	70	1	72	0	73	
				[1]	[2]	[0]	[3]	

- (注) ・ 未開講である場合や, 配当年次に関わらず, 教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など, 別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに, [] 内に, 設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ 1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<大学院医薬保健学総合研究科博士課程 薬学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
初期総合カリキュラム	論文演習	1前or後		2								兼1	担当教員の異動による変更 (25) 教育効果向上のため担当教員の追加 (25) 教育効果向上のため担当教員の追加 (25)
	情報処理演習	1前or後		2								兼1	
	医学統計学演習	1前or後		2								兼1	
	細胞培養法	1前or後		2								兼1	
	細胞培養法実習	1前or後		2								兼1	
	微生物培養法	1前or後		2								兼1	
	微生物培養法実習	1前or後		2								兼1	
	形態解析研究法	1前or後		2								兼1	
	形態解析研究法実習	1前or後		2								兼1	
	遺伝子操作実験法	1前or後		2								兼1	
	遺伝子操作実験法実習	1前or後		2								兼1	
	生化学分子生物学研究法	1前or後		2								兼1	
	生化学分子生物学研究法実習	1前or後		2								兼1	
	免疫学研究法	1前or後		2								兼1	
	免疫学研究法実習	1前or後		2								兼1	
	トレーサー実験法	1前or後		2								兼1	
	トレーサー実験法実習	1前or後		2								兼1	
	実験動物学	1前or後		2								兼1	
	実験動物学実習	1前or後		2								兼1	
	社会医学研究法	1前or後		2								兼1	
	社会医学研究法実習	1前or後		2								兼1	
	医学概論	1前or後		2								兼1	
	基礎系教育セミナー	1前		2			1					兼1	
	臨床系教育セミナー	1通		2								兼1	
	最新医科学英語	1後		2								兼1	
	フロンティア医学セミナー	1前or後		2		3	1					兼1	
	分子生物学入門	1前or後		1								兼1	
分子腫瘍学特論	1前or後		1								兼1		
臨床統計学特論	1前or後		1								兼1		
臨床栄養学特論	1前or後		1								兼1		
臨床統計学演習	1前or後		1								兼1		
レギュラトリーサイエンス特論	1後		2		1						兼1		
博士課程共通	がん研セミナー	1・2前or後		2		3	1					兼1	教育効果向上のため担当教員の追加 (25)
	学際医学セミナー	1or2通		2		3	1					兼2	
	発生工学基礎技術コース	1・2前or後		1								兼1	
	遺伝子工学基礎技術コース	1・2前or後		1								兼1	
薬学専攻	血管分子科学	血管分子生物学特論	1～2通		12							兼2	
		血管細胞生物学	1・2前or後		6							兼2	
		分子医化学	1・2前or後		6							兼2	
		血管情報伝達学特論	1～2通		12							兼3	
		循環生理学	1・2前or後		6							兼2	
		血管増殖調節学	1・2前or後		6							兼2	
		血管新生学・結合組織代謝学特論	1～2通		12							兼1	
	血液情報学	膠原病学	1・2前or後		3							兼1	
		皮膚病学特論	1・2前or後		3							兼1	
		皮膚腫瘍学	1・2前or後		3							兼1	
		皮膚免疫学	1・2前or後		3							兼1	
		血液情報統御学特論	1～2通		12							兼2	
		臨床検査学	1・2前or後		6							兼2	
		細菌検査学	1・2前or後		2							兼2	
内分泌診断学	1・2前or後		4							兼2			
血液情報発信学特論	1～2通		12							兼1			
集中治療医学	1・2前or後		4							兼1			
重症患者管理学	1・2前or後		4							兼1			
救命救急医学	1・2前or後		4							兼1			

薬学専攻	血管病態制御学	臓器機能制御学特論	1~2通	12							兼1	
		循環器病学	1・2前or後	4								兼2
		内分泌代謝学	1・2前or後	8								兼1
		血管発生発達病態学特論	1~2通	12								兼1
		小児血液腫瘍学	1・2前or後	4								兼1
		先天性代謝病学	1・2前or後	4								兼2
		小児科学	1・2前or後	4								兼1
		経血管診療学特論	1~2通	12								兼1
		放射線診断学	1・2前or後	4								兼2
		血管内治療学	1・2前or後	4								兼2
		磁気共鳴診断学	1・2前or後	2								兼2
		画像診断学	1・2前or後	2								兼2
		心肺病態制御学特論	1~2通	12								兼4
		心血管外科学	1・2前or後	6								兼2
		呼吸器外科学	1・2前or後	6								兼4
機能分子薬学	分子情報薬理学特論	1~2通	12								兼1	
	細胞シグナル伝達学	1・2前or後	6								兼1	
	細胞分子機能学特論	1・2前or後	12								兼2	
血液情報病態学	血液情報病態学特論	1~2通	12								兼1	
	血液異常治療学	1・2前or後	6								兼1	
	血液情報分子遺伝学	1・2前or後	6								兼1	
医薬情報統御学	医薬情報統御学特論	1~2通	12								兼1	
	薬物間相互作用論	1・2前or後	6								兼1	
	薬物療法科学	1・2前or後	6								兼1	
医療経営学	医療経営学特論	1~2通	12								兼1	
	医療安全管理学	1・2前or後	2								兼1	
	医療マーケティング	1・2前or後	2								兼1	
	医療経営学	1・2前or後	2								兼1	
医薬科学	感染症の予防と治療	1・2・3・4前	2		1						教育効果向上のため担当教員の追加(26) 担当教員の異動による変更(25)	
	薬物代謝毒性論	1・2・3・4後	2		4							
	薬物設計動態学	1・2・3・4前	2		1							
	薬物治療の予測と評価	1・2・3・4後	2		1							
	社会疫学研究法	1・2・3・4後	2			1						
	分子病態解析学	1・2・3・4前	2			4						
	個別薬物情報学	1・2・3・4後	2		1							
	臨床薬物動態学	1・2・3・4前	2		1							
	医療コミュニケーション学	1・2・3・4後	2			1						
	社会薬学	1・2・3・4前	2				1					
専攻共通	研究分野別特論	1~3通	12		7	3	1				担当教員の異動による変更(26)	
	医薬科学特別演習	4通	2		7	3	1	3			担当教員の異動による変更(26)	
	医薬科学特別研究	4通	2		6	3	1		2		担当教員の異動による変更(26)	
	先端循環医学セミナー	1・2前or後	12								兼1	
	循環医学Up-to-dateセミナー	1・2前or後	2								兼1	

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成26年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
3	95	0	98	3	95	0	98	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	薬物設計動態学	2	1・2・3・4前	専門	選択	隔年開講科目のため
2	薬物治療の予測と評価	2	1・2・3・4後	専門	選択	隔年開講科目のため
3	個別薬物情報学	2	1・2・3・4後	専門	選択	隔年開講科目のため
4	社会薬学	2	1・2・3・4前	専門	選択	隔年開講科目のため

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

平成26年度に開講しなかった科目については, 次年度の開講を予定している。学生には修了時まで少なくとも1回の履修の機会を設定しており, 修了要件などに支障をきたすことはないので問題はない。学生への周知はオリエンテーション等で周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.04}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<大学院医薬保健学総合研究科博士後期課程 創薬科学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門講義科目	環境化学物質学	1・2・3前		2		1						教育効果向上のため、教員を追加(25)
	比較伝承医学特論	1・2・3後		2		+	1					担当教員の異動による変更(26)
	がん分子生物学	1・2・3前		2		1						
	化学測定学	1・2・3後		2		1						
	応用分子科学	1・2・3後		2		+	1					担当教員の異動による変更(26)
	天然物の全合成	1・2・3前		2		+						教育効果向上のため、教員を追加(24)
	生体機能を志向した有機化学	1・2・3後		2		1					兼1	担当教員の異動による変更(26)
	分子薬理学特論	1・2・3後		2		1						
	ワクチン開発の重要性	1・2・3前		2		1						
	環境リスク評価学	1・2・3前		2				1				
	細胞性自然免疫学	1・2・3後		2				1				
	細胞免疫学	1・2・3後		2				1				
	細胞分裂周期制御学	1・2・3後		2				1				
	薬用資源応用学	1・2・3前		2				1				
	不斉触媒化学特論	1・2・3後		2				1				
	環境有機合成化学	1・2・3後		2				1				
	新有機合成反応特論	1・2・3後		2				1				
	薬用植物資源学	1・2・3前		2				1				
	画像診断学：薬学の見地から	1・2・3前		2				1				
	統合薬理学	1・2・3後		2				1				
	脳疾患の薬物治療	1・2・3前		2				1				
	化学療法剤の薬物動態	1・2・3前		2				1				
	薬物代謝解析学	1・2・3前		2				+				兼1 担当教員の異動による変更(26)
分子機能学特論	1・2・3後		2				1				教育効果向上のため、科目を追加(25)	
特別研究	薬科学特別演習	1~3通	2			6 9 10 6 9	15 16 16 15 16			14 15 14		担当教員の異動による変更(26) 担当教員の異動による変更(25) 担当教員の異動による変更(24) 担当教員の異動による変更(26) 担当教員の異動による変更(25)
	薬科学特別研究	1~3通	2			10	16					

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月日を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 2	科目 23	科目 0	科目 25	科目 [0]	科目 [1]	科目 [0]	科目 [1]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	がん分子生物学	2	1・2・3前	専門	選択	隔年開講科目のため
2	応用分子科学	2	1・2・3後	専門	選択	隔年開講科目のため
3	生体機能を志向した有機化学	2	1・2・3後	専門	選択	隔年開講科目のため
4	環境リスク評価学	2	1・2・3前	専門	選択	隔年開講科目のため
5	細胞性自然免疫学	2	1・2・3後	専門	選択	隔年開講科目のため
6	細胞分裂周期制御学	2	1・2・3後	専門	選択	隔年開講科目のため
7	不斉触媒化学特論	2	1・2・3後	専門	選択	隔年開講科目のため
8	薬用植物資源学	2	1・2・3前	専門	選択	隔年開講科目のため
9	画像診断学: 薬学の見地から	2	1・2・3前	専門	選択	隔年開講科目のため
10	統合薬理学	2	1・2・3後	専門	選択	隔年開講科目のため
11	薬物代謝解析学	2	1・2・3前	専門	選択	隔年開講科目のため
12	分子機能学特論	2	1・2・3後	専門	選択	隔年開講科目のため

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

平成26年度に開講しなかった科目については, 次年度の開講を予定している。学生には修了時まで少なくとも1回の履修の機会を設定しており, 修了要件などに支障をきたすことはないので問題はない。学生への周知はオリエンテーション等で周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.46}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

＜大学院医薬保健学総合研究科博士後期課程 保健学専攻＞

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
看護科学領域専門科目	慢性・創傷看護技術学特講	1前		2		4 3	+ 2 2					教育内容充実のため、教員を追加(24) 教員の職位変更(25)、 教員の職位変更(26)
	慢性・創傷看護技術学特講演習	1後		2		4 3	+ 2 2					教育内容充実のため、教員を追加(24) 教員の職位変更(25)、 教員の職位変更(26)
	慢性・創傷看護技術学特別研究	1前・後2前		6		4 3						教育内容充実のため、教員を追加(24) 教育内容充実のため、教員を追加(25)
	高齢者リハビリテーション・精神看護学特講	1前		2		2	3 2					教員の退職及び職位変更(24) 教員の退職(26)
	高齢者リハビリテーション・精神看護学特講演習	1後		2		2	3 2					教員の退職及び職位変更(24) 教員の退職(26)
	高齢者リハビリテーション・精神看護学特別研究	1前・後2前		6		2	+ 0					教員の職位変更により、教員を追加(24) 教員の退職(26)
	女性・小児環境発達学特講	1前		2		3	2					教員の職位変更及び採用により、教員を追加(24)
	女性・小児環境発達学特講演習	1後		2		3	2					教員の職位変更及び採用により、教員を追加(24)
	女性・小児環境発達学特別研究	1前・後2前		6		3						教員の職位変更により、教員を追加(24)
	地域・環境保健看護学特講	1前		2		4	1					教育内容充実のため、教員を追加 並びに教員の退職による変更(24)
	地域・環境保健看護学特講演習	1後		2		3	1					教育内容充実のため、教員を追加 並びに教員の退職による変更(24)
	地域・環境保健看護学特別研究	1前・後2前		6		3						教育内容充実並びに教員の職位変更 により、教員を追加(24)
	小計(12科目)	—		0		13 12	7 8	0	0	0		
医療科学領域専門科目	機能画像解析学特講	1前		2		5	2					教育内容充実のため、教員を追加(24)
	機能画像解析学特講演習	1後		2		5	2					教育内容充実のため、教員を追加(24)
	機能画像解析学特別研究	1前・後2前		6		5						教育内容充実のため、教員を追加(24)
	量子診療技術学特講	1前		2		4-3	2 1					教員の職位変更及び採用により、教員を追加(24) 教員の退職(26)
	放射線治療物理臨床技術学特講	1前		2		1	1					
	量子診療技術学特講演習	1後		2		4-3	3 2 2					教員の職位変更及び採用により、教員を追加(24) 教育内容充実のため、教員を追加(25) 教員の退職(26)
	臨地専門マネージメント演習	1~3		2		1	1					
	量子診療技術学特別研究	1前・後2前		6		4-3	+ 0					教員の職位変更及び採用により、教員を追加(24) 教員の退職(26)
	分子生物検査学特講	1前		2		3 2	4					教員の退職(24) 教員の退職及び採用(26)
	分子生物検査学特講演習	1後		2		3 2	4					教員の退職(24) 教員の退職及び採用(26)
	分子生物検査学特別研究	1前・後2前		6		3 2	3					教員の退職(24) 教員の退職及び採用(26)
	腫瘍検査学特講	1前		2		5 4	±					教育内容充実のため、教員を追加並びに教員の退職及び職位変更による変更(24) 教員の職位変更(25)
腫瘍検査学特講演習	1後		2		5 4	±					教育内容充実のため、教員を追加並びに教員の退職及び職位変更による変更(24) 教員の職位変更(25)	
腫瘍検査学特別研究	1前・後2前		6		5 4	±					教育内容充実のため、教員を追加並びに教員の退職及び職位変更による変更(24) 教員の職位変更(25)	
	小計(14科目)	—		0		17 16 15	8 9 7	0	0	0		

リハビリテーション科学領域 専門科目	障害評価学特講	1前		2		2	2						
	障害評価学特講演習	1後		2		2	2						
	機能回復学特講	1前		2		2	1						
	機能回復学特講演習	1後		2		2	1						
	障害解析学特別研究	1前・後2前		6		4							
リハビリテーション科学領域 専門科目	生理機能解析学特講	1前		2		2	1						
	生理機能解析学特講演習	1後		2		2	1						
	作業能力回復学特講	1前		2		3 2	1					教員の退職 (26)	
	作業能力回復学特講演習	1後		2		3 2	1					教員の退職 (26)	
	機能・能力回復学特別研究	1前・後2前		6		5 4	1					教員の退職 (26)	
合計 (36科目)		—		112		39 37 36	20 22 19	0	0	0			

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しそのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
0	36	0	36	0	36	0	36	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

3 既設大学等の状況

大学の名称	金 沢 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 員 定 員	編入学 員 定 員	収 容 員 定 員	学位又 は称号	平均定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人					
人間社会学域									
人文学類	4	145	-	580	学士 (文学)	1.05	平成20年度	金沢市角間町	
法学類	4	170	3年次 10	700	学士 (法学)	1.00	平成20年度	金沢市角間町	
経済学類	4	185	-	740	学士 (経済学)	1.01	平成20年度	金沢市角間町	
学校教育学類	4	100	-	400	学士 (教育学)	1.02	平成20年度	金沢市角間町	
地域創造学類	4	80	-	320	学士 (地域創造 学)	1.04	平成20年度	金沢市角間町	
国際学類	4	70	-	280	学士 (国際学)	1.05	平成20年度	金沢市角間町	
理工学域									
数物科学類	4	84		336	学士 (理学)	1.05	平成20年度	金沢市角間町	
物質化学類	4	81		324	学士 (理学・工 学)	1.06	平成20年度	金沢市角間町	
機械工学類	4	140	学域 共通 3年次 40	560	学士 (工学)	1.06	平成20年度	金沢市角間町	
電子情報学類	4	108		432	学士 (工学)	1.06	平成20年度	金沢市角間町	
環境デザイン学類	4	74		296	学士 (工学)	1.08	平成20年度	金沢市角間町	
自然システム学類	4	102		408	学士 (理学・工 学)	1.07	平成20年度	金沢市角間町	
				80		1.08			
医薬保健学域									
医学類	6	112	2年次 5	690	学士 (医学)	1.00	平成20年度	金沢市宝町13-1	
薬学類	6	35	-	210	学士 (薬学)	1.01	平成20年度	金沢市角間町	
創薬科学類	4	40	-	160	学士 (創薬科 学)		平成20年度	金沢市角間町	
保健学類									
看護学専攻	4	80	3年次 10	340	学士 (看護学)	0.99	平成20年度	金沢市小立野5-11-80	
放射線技術科学専攻	4	40	3年次 5	170	学士 (保健学)	0.93	平成20年度	金沢市小立野5-11-80	
検査技術科学専攻	4	40	3年次 5	170	学士 (保健学)	0.90	平成20年度	金沢市小立野5-11-80	

理学療法学専攻	4	20	3年次 5	90	学士 (保健学)	0.82	平成20年度	金沢市小立野5-11-80	
作業療法学専攻	4	20	3年次 5	90	学士 (保健学)	0.83	平成20年度	金沢市小立野5-11-80	
教育学研究科									
教育実践高度化専攻	2	35	-	70	修士 (教育学)	0.62	平成21年度	金沢市角間町	
人間社会環境研究科									
人文学専攻	2	23	-	46	修士 (文学・学 術)	1.06	平成24年度	金沢市角間町	
法学・政治学専攻	2	8	-	16	修士 (法学・政 治学)	0.93	平成24年度	金沢市角間町	
経済学専攻	2	8	-	16	修士 (経済学・学 経営学・学 術)	0.56	平成24年度	金沢市角間町	
地域創造学専攻	2	8	-	16	修士 (地域創造 学・学術)	1.18	平成24年度	金沢市角間町	
国際学専攻	2	8	-	16	修士 (国際学・ 学術)	1.12	平成24年度	金沢市角間町	
人間社会環境学専攻	3	12	-	36	博士 (社会環境 学・文学・ 法薬・政治 学・経済 学・学術)	1.27	平成18年度	金沢市角間町	
自然科学研究科									
数物科学専攻	2	56	-	112	修士 (理学・学 術)	1.10	平成24年度	金沢市角間町	
物質化学専攻	2	57	-	114	修士 (理学・工 学・学術)	1.18	平成24年度	金沢市角間町	
機械科学専攻	2	90	-	180	修士 (工学・学 術)	1.31	平成24年度	金沢市角間町	
電子情報科学専攻	2	67	-	134	修士 (工学・学 術)	1.17	平成24年度	金沢市角間町	
環境デザイン学専攻	2	40	-	80	修士 (工学・学 術)	0.90	平成24年度	金沢市角間町	
自然システム学専攻	2	67	-	134	修士 (理学・工 学・学術)	0.98	平成24年度	金沢市角間町	
数物科学専攻	3	15	-	41	博士 (理学・学 術)	0.78	平成16年度	金沢市角間町	
物質化学専攻	3	14	-	14	博士 (理学・工 学・学術)	0.35	平成26年度	金沢市角間町	
機械科学専攻	3	25	-	25	博士 (工学・学 術)	0.32	平成26年度	金沢市角間町	
電子情報科学専攻	3	18	-	48	博士 (工学・学 術)	0.77	平成16年度	金沢市角間町	
環境デザイン学専攻	3	10	-	10	博士 (工学・学 術)	0.50	平成26年度	金沢市角間町	
自然システム学専攻	3	21	-	21	博士 (理学・工 学・学術)	0.42	平成26年度	金沢市角間町	
システム創成科学専攻	3	-	-	-	博士 (工学・学 術)		平成16年度	金沢市角間町	平成26年度より 学生募集停止
物質科学専攻	3	-	-	-	博士 (理学・工 学・学術)		平成16年度	金沢市角間町	平成26年度より 学生募集停止

環境科学専攻	3	-	-	-	博士 (理学・工学・学術)	1.00	平成16年度	金沢市角間町	平成26年度より 学生募集停止
生命科学専攻	3	-	-	-	博士 (理学・学術)	0.72	平成16年度	金沢市角間町	平成26年度より 学生募集停止
医薬保健学総合研究科									
医科学専攻	2	15	-	30	修士 (医科学)	1.00	平成24年度	金沢市宝町13-1	
脳医科学専攻	4	16	-	48	博士 (医学・学術)	0.72	平成24年度	金沢市宝町13-1	
がん医科学専攻	4	26	-	78	博士 (医学・学術)	1.07	平成24年度	金沢市宝町13-1	
循環医科学専攻	4	20	-	60	博士 (医学・学術)	0.68	平成24年度	金沢市宝町13-1	
環境医科学専攻	4	14	-	42	博士 (医学・学術)	0.90	平成24年度	金沢市宝町13-1	
創薬科学専攻	2	38	-	76	修士 (創薬科学)	0.92	平成24年度	金沢市角間町	
創薬科学専攻	3	11	-	33	博士 (創薬科学・学術)	1.06	平成24年度	金沢市小立野5-11-80	
薬学専攻	4	4	-	12	博士 (薬学・学術)	1.16	平成24年度	金沢市角間町	
保健学専攻	2	70	-	140	修士 (保健学)	0.97	平成24年度	金沢市小立野5-11-80	
保健学専攻	3	25	-	75	博士 (保健学)	1.10	平成24年度	金沢市小立野5-11-80	
法務研究科	3	25	-	75	法務博士 (専門職)	0.68	平成16年度	金沢市角間町	

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(国立大学法人)が設置している全ての大学(学部、学科)及び大学院(専攻)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成26年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

(ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・ 「平均定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科単位で記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。
- ・ 大学においては学科単位、大学院においては専攻単位で記入してください。

4 教員組織の状況

<医薬保健学総合研究科>

専任教員数

<脳医科学専攻>

設置時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
30	0	30	27	0	27	65	0
(28)	(0)	(28)	[△3]	[0]	[△3]	歳	名

<脳医科学専攻>

設置時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
55	0	55	53	0	53	65	0
(53)	(0)	(53)	[△2]	[0]	[△2]	歳	名

<循環医科学専攻>

設置時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
33	0	33	28	0	28	65	0
(30)	(0)	(30)	[△5]	[0]	[△5]	歳	名

<環境医科学専攻>

設置時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
17	0	17	18	0	18	65	0
(20)	(0)	(20)	[1]	[0]	[1]	歳	名

<薬学専攻>

設置時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
10	2	12	11	3	14	65	0
(12)	(2)	(14)	[1]	[1]	[2]	歳	名

<創薬科学専攻(D)>

設置時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
26	14	40	21	13	34	65	0
(25)	(14)	(39)	[△5]	[△1]	[△6]	歳	名

<保健学専攻(D)>

設置時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
39	15	54	40	15	55	65	0
(43)	(16)	(59)	[1]	[0]	[1]	歳	名

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
- ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成26年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

5 その他全般的事項

<医薬保健学総合研究科>

情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成26年 7月 1日)